



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年7月28日

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社 (コード番号：7991 東証第 2部)
 (URL <http://www.mamiya-op.co.jp/>)
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 滝沢 三規
 責任者役職・氏名 常務取締役管理本部長 志田 太利夫 (TEL:(048) - 858 4880)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 影響額が僅少な項目につき一部簡便な方法を採用
 しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	4,775	20.1	148	43.0	34	85.0	41	75.8
18年3月期第1四半期	3,977	13.0	259		232		172	
(参考)18年3月期	17,402		763		793		11,450	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	1.08	
18年3月期第1四半期	4.45	
(参考)18年3月期	294.98	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期のわが国経済は、原油価格の高止まり、株式市場の急落など、不安材料もありましたが、企業の業績が順調に推移し、設備投資への意欲もあり、概ね順調に推移しました。

このような状況の中、当社の当第1四半期の売上高は47億75万円（前年同期比20.1%増）、経常利益34百万円（前年同期比85.0%減）、四半期純利益41百万円（前年同期比75.8%減）となりました。

次に事業部門別にご報告いたします。

電子機器事業部門では、前期より投入された新製品のユニット、メダル貸機の売上が好調に推移しました。

この結果、売上高は34億60百万円（前年同期比28.1%増）となりました。

光学機器事業部門では、銀塩カメラ市場は厳しい状況の中、昨年12月に発売いたしました2200万画素のデジタルカメラ「マミヤZD」の売上が寄与し、売上高は5億18百万円（前年同期比37.1%増）となりました。

スポーツ事業部門では、国内では、各種原材料の高騰、ゴルフシャフトのカーボン原材料不足など厳しい環境でしたが、新4軸シャフト「AXIV-V」の売上が伸びましたが、海外におきましては、厳しい価格競争の中、販売価格を堅持したため、売上は伸び悩みました。

この結果、売上高は、7億96百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況 (百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	16,697	7,877	47.2	203.02
18年3月期第1四半期	24,552	2,964	12.1	76.35
(参考)18年3月期	17,903	7,885	44.0	203.19

【連結キャッシュ・フローの状況】 (百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	1,317	38	467	2,093
18年3月期第1四半期	1,635	10	147	3,454
(参考)18年3月期	459	404	1,308	3,918

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は13億17百万円（前年同期は16億35百万円の資金減少）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益41百万円及び減価償却費79百万円の資金増加要因があったものの、売上債権の増加5億4百万円、たな卸資産の増加2億46百万円、仕入債務の減少3億52百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は38百万円（前年同期は10百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入13百万円及び定期預金の解約による収入12百万円があったものの、定期預金の預入による支出3百万円、設備投資に係る固定資産の取得による支出9百万円、定期積金の積み立てによる支出60百万円等があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は4億67百万円（前年同期は1億47百万円の資金減少）となりました。これは主に、借入金の返済（純額）4億65百万円によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前連結会計年度末より18億25百万円減少し20億93百万円となりました。

以上

[参 考]

[業績予想に関する定性的情報等]

第1四半期の売上高は前期実績を上回っておりますが、現時点での平成19年度3月期の業績予想につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社を相手方として「特定債務等の調整促進のための特定調停に関する法律」に基づく調停が成立いたしました。調停条項の実施後速やかに発表いたします。

〔添付資料〕

1 .(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月 期第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月 期第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	2,139	3,542			3,973
受取手形及び売掛金	3,981	2,689			3,480
たな卸資産	4,386	5,783			4,144
その他	521	160			552
流動資産合計	11,028	12,176	1,147	9.4	12,151
固定資産					
有形固定資産	3,927	9,493			3,998
無形固定資産	60	68			65
投資その他の資産	1,680	2,813			1,687
固定資産合計	5,668	12,375	6,707	54.2	5,751
資産合計	16,697	24,552	7,855	32.0	17,903
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	4,046	3,678			4,403
短期借入金	11,615	4,272			3,074
未払法人税等	10	66			46
その他	5,172	573			5,523
流動負債合計	20,845	8,591	12,254	142.6	13,048
固定負債					
長期借入金	2,182	11,138			11,193
退職給付引当金	1,351	1,592			1,328
その他	194	265			218
固定負債合計	3,728	12,996	9,267	71.3	12,740
負債合計	24,574	21,587	2,986	13.8	25,789
(資本の部)					
資本金	-	2,958			2,958
利益剰余金	-	154			11,468
その他有価証券評価 差額金	-	276			223
為替換算調整勘定	-	405			424
自己株式	-	20			23
資本合計	-	2,964			7,885
負債、資本合計	-	24,552			17,903
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	2,958	-			-
利益剰余金	11,426	-			-
自己株式	25	-			-
株主資本合計	8,493	-			-
評価・換算差額等					
その他有価証券評 価差額金	188	-			-
為替換算調整勘定	428	-			-
評価・換算差額等 合計	616	-			-
純資産合計	7,877	-			-
負債、純資産合計	16,697	-			-

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	4,775	3,977	797	20.1	17,402
売上原価	3,741	2,766	974	35.2	12,937
売上総利益	1,033	1,210	176	14.6	4,465
販売費及び 一般管理費	885	950	65	6.8	3,702
営業利益	148	259	111	43.0	763
営業外収益	18	70	52	73.9	396
受取利息及び 配当金	3	5			16
その他	14	65			379
営業外費用	131	98	33	34.1	366
支払利息	89	75			309
その他	41	22			57
経常利益	34	232	197	85.0	793
特別利益	7	1	5	-	248
特別損失	-	0	0	-	12,454
固定資産売却 却損	-	0			256
減損損失	-	-			4,861
事業譲渡損失等 引当金繰入額	-	-			4,781
その他	-	-			2,554
税金等調整前四 半期純利益又は 当期純損失()	41	233	191	82.1	11,412
税金費用	0	60	60	100	37
四半期純利益 又は当期純損 失()	41	172	130	75.8	11,450

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期	前年同四半期	(参考)
	(平成19年3月期 第1四半期)	(平成18年3月期 第1四半期)	平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益又は純損失	41	233	11,412
減価償却費	79	46	308
減損損失	-	-	4,861
事業譲渡損失等引当金の増減額 (減少：)	156	-	4,781
売上債権の増減額(増加：)	504	198	541
たな卸資産の増減額(増加：)	246	269	2,010
仕入債務の増減額(減少：)	352	2,393	1,616
その他	30	94	1,480
小 計	1,168	1,550	128
利息及び配当金の受領額	3	5	17
利息の支払額	110	59	291
法人税等の支払額	41	30	56
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,317	1,635	459
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の売却による収入	13	-	259
有形固定資産の取得による支出	9	29	236
定期預金の預入による支出	3	4	6
定期預金の解約による収入	12	84	119
その他	51	61	267
投資活動によるキャッシュ・フロー	38	10	404
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期(短期)借入による収入	-	261	1,694
長期(短期)借入金の返済による支出	465	407	2,997
その他	1	1	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	467	147	1,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	7	40
現金及び現金同等物の増減額 (減少：)	1,825	1,786	1,323
現金及び現金同等物の期首残高	3,918	5,241	5,241
現金及び現金同等物の期末残高	2,093	3,454	3,918

4. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期

(単位：百万円)

	電子機器 事業	光学機器 事業	スポーツ 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高	3,460	518	796	4,775	-	4,775
営業費用	3,138	740	748	4,627	-	4,627
営業利益	321	221	48	148	-	148

前年同四半期

(単位：百万円)

	電子機器 事業	光学機器 事業	スポーツ 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高	2,701	377	898	3,977	-	3,977
営業費用	2,373	660	683	3,717	-	3,717
営業利益	327	282	214	259	-	259

〔所在地別セグメント情報〕

当四半期

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	計	消去又 は全社	連結
売上高	4,237	438	422	5,098	(323)	4,775
営業費用	4,094	432	423	4,950	(323)	4,627
営業利益	142	6	1	148	(0)	148

前年同四半期

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	計	消去又 は全社	連結
売上高	3,251	489	600	4,341	(363)	3,977
営業費用	3,207	429	443	4,081	(363)	3,717
営業利益	43	59	156	259	(0)	259